

前回協議会での意見一覧(意見書及び回答持ち帰り分) 参考資料

番号	意見内容	回答
1	服部天神駅前の道路(服部利倉線)について、一方通行にしてもいいぐらいの狭い道路にグリーンベルトで対面通行ですから、近くで生活なさっている車椅子使用者の方や介護している方が、車に対して不安がないのかなと思いました。このことについて、大阪府警の方や交通担当をなさっている方は、どう考えておられるのかなと思っています。	(大阪府池田土木事務所) 服部天神駅前の府道豊中吹田線については、ご指摘のとおり幅員が狭く歩道が整備されておりませんが、道路の拡幅については事業化の目途が立っておらず、グリーンベルトの整備等、現道内の対策を実施してきたところです。引き続き、警察等の関係者と連携し、現道内の安全対策を検討して参ります。
2	小中学校のバリアフリー化についてご説明がありましたが、公立のこども園や保育園のバリアフリー化はどのように進めていけるのか。	(豊中市) 公立こども園におきましては、現在進めている6園の再整備工事において、障害児や妊産婦、高齢者等の利用を想定し、すべての利用者が安心・安全に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に配慮した施設となるよう設計等を行っています。その他の園においても、段差解消やスロープの設置など各園に必要な修繕対応を行っています。 民間保育所等においては、国が実施する障害児や医療的ケア児の受け入れに必要な改修等にかかる補助金制度を周知し、積極的な活用促進を図っています。
3	バリアフリーマップにつきまして、市役所とかで配布されると思うのですが、全戸配布してはどうでしょうか。無駄や言う人がいいたら、無駄なことはありませんと、その時こそ堂々と対応してはいいか。もちろん財政には限りがあるから絶対にという事ではないが検討課題として頂けたらと思います。	(豊中市) 冊子版の配布につきましては、市役所などの窓口で配布するとともに、全戸対応といたしまして、冊子作成時に市の広報誌やSNS等を活用して、二次元コードの読取により、閲覧できるようにするなどの対応を予定しています。
	<p>(前々回での意見) 南丘小学校のトイレでは和式でせまかったり、双子のベビーカーなのでトイレに行けなかったりします。車椅子の保護者の方も、学校周りの施設が階段しかないので子どもの参観ができないということがあります。各学校の整備の資料を見ましたが、7・8年後となっており、もう少し急いでやっていただきたいと思います。</p> <p>(前々回での意見) 【補足】学校の災害時対応を含めたバリアフリー化について、文科省の方で今年から5年間を集中期間としており、市町村に対する補助率が3分の1から2分の1にアップするなど取り組もうとされているので、ぜひこの機会を活用して整備をスピードアップする試みをされた方が良いのではと思います。</p>	<p>(豊中市) ご指摘をいただきました南丘小学校のバリアフリーへの対応として、平成29年度に本館校舎南側にエレベーター設置工事を行っております。 その結果、校舎間の移動については、北館校舎3階と中館校舎3階への移動を除き、行き来ができるようになっています。 よって、学校行事等が行われる場所にもよりますが、概ね学校行事へのご参加はしていただけるものと考えています。 また、トイレの洋式化改修については、令和元年度に本館校舎の縦1系統のトイレの洋式化改修を実施し、その際、多機能トイレも設置しております。 その他の学校トイレの洋式化については、計画を前倒しし、令和7年度の完了をめざし取り組みを進めているところです。</p> <p>学校施設の改修にあたっては、文部科学省の補助制度を活用してきており、老朽化した学校施設の計画的な改修等を行う際の貴重な財源の一つだと考えており、引き続き、関係省庁の動きにも注視し、児童・生徒が安心安全・快適に学校生活を送れるよう、教育の環境面の充実を図ってまいります。</p>
4	<p>【続き】 ご指摘をいただきました南丘小学校のバリアフリーへの対応として、平成29年度に本館校舎南側にエレベーター設置工事を行っております。 →人数が増え2年ほど前から北館も使用するようになりました。 その結果、校舎間の移動については、北館校舎3階と中館校舎3階への移動を除き、行き来ができるようになっています。 →3年または4年の教室があります。副教科のための教室があり、移動して使います。 よって、学校行事等が行われる場所にもよりますが、概ね学校行事へのご参加はしていただけるものと考えています。 →3年または4年の参観、副教科(音楽、理科室、家庭教室)の参観があります。 また、トイレの洋式化改修については、令和元年度に本館校舎の縦1系統のトイレの洋式化改修を実施し、その際、多機能トイレも設置しております。 →北側は使用するつもりがなかったのか。和式トイレが9割ほどで汚く、せまく、壊れているものも多い。</p> <p>現在は、北館も中館も使用することになって、そちらの整備が全く行き届いてなくて、例えば車椅子の子とかベビーカーを押した方、また車椅子を使った保護者の方が北館や中館を使用できないという声も頂いていて、南館から中館又は北館へ行くには、建物の高さが違うため、階段を使用しないといけない。そのため、南館や北館にもエレベーターが必要です。1度工事が終わったところは作業が後回しになると聞いていますが、南丘小学校みたいにヒアリング当時と状況が変わってしまっている学校が他校にもあると思われるので年に1度、全小学校・保育園・子ども園などにヒアリングをしてみたらどうでしょうか。よろしくお願いいたします。</p>	<p>(豊中市) バリアフリーへの対応については、前回、委員よりご意見をいただきましたように、令和7年度までの対応を求められていることは、承知しておりますが、未だ設置に至っていない学校が複数校あり、当該施設への設置を急ぐ必要があります。</p> <p>学校施設の改修等につきましては、令和3年3月策定の「豊中市学校施設長寿命化計画」に基づき、改修を進めていく予定にしております。</p> <p>ご指摘のヒアリングについては、毎年、各小中学校に対し支援に関する要望を聞き取る機会を設けており、2機目のエレベーターの設置希望をいただいておりますが、先程も申し上げたように、未設置校への設置を最優先に取り組んでいるところです。</p> <p>引き続き、児童・生徒が安心安全・快適に学校生活を送れるよう、教育環境の充実に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

前回協議会での意見一覧(意見書及び回答持ち帰り分) 参考資料

番号	意見内容	回答
5	<p>公園のバリアフリー化について、去年小学校のPTAの活動として市営新千里南第二住宅児童遊園の入り口の改善につとめました。その経験から、本日の資料6に載っている上野公園のようなポール2本、スロープの設置だと、公園内で遊んでいる子どもがポールが転がった際などの飛び出しにつながってしまうことがわかりました。又、庄内東公園のような入り口だと「U字」の柵が交互に並べているため、子どものポールが転がった際の飛び出しが防げるため、ポールではなく、「U字」の柵を入りに設置してほしい。そうすることによって、ベビーカー、車椅子使用の方も利用しやすくなりますし、子どもの安全も見守られると思います。今年度以降、公園の入り口の改修工事の際に考慮して頂けたら幸いです。又、公園内の多機能トイレの入り口が軽いためか、扉をあけて、ベビーカーを押しにもどると、トイレの扉がしまり、使用しづらいという意見もあがっていますので、ご考慮頂きたいです。</p>	<p>(豊中市) 公園出入口部のポールや「U字」の柵は、通行者の妨げにならないよう、車両等の進入を視覚的に抑止する目的で設置したもので、種類の選定においては、出入口部の広さや幅等、公園の形状を考慮し決定したものです。 現在、公園のバリアフリー化の取り組みについては、その間隔を車いすを使用する方やベビーカーを使用する方が通行しやすいよう0.9mから1.2mに広げたり、段差解消を目的としたスロープの設置を進めているところであり、ご希望の「U字」の柵への変更は考えておりません。 しかしながら、公園からの子供の飛び出し防止対策については、公園の形状にも寄与することから、現状を把握し、啓発も含めた対応を検討してまいります。 バリアフリートイレは、車椅子の方が利用しやすいように、出入口がスライド式となっており、扉を全開するとストッパーがかかり、少し閉める方向に動かすとゆっくり自閉する仕様となっております。扉の不具合により使用しづらい場合は、当課に連絡して頂ければ対応いたします。</p>
6	<p>大阪モノレールホームドアへの「優先座席位置表示」について、阪急電鉄ではホームの乗車位置表示に「優先座席」に近い扉である旨の表示がありますが、大阪モノレールでは「車椅子マーク」はあるものの「優先座席」の表示がありません。杖歩行者の者にとって上記表示は大きな「安心」につながるものですので、会社としてのご検討をお願いしたいと思います。</p>	<p>(大阪モノレール株式会社)今後、大阪モノレールと結節している他社の状況を調査して、「優先座席」の表示を検討してまいります。</p>
7	<p>各電鉄会社様へ 駅(改札口)の無人化だけは、避けてほしい。せめて一人は常駐して頂きたいです。特に単独歩行をされている方は、改札口に駅員がいないと困る時があります。インターフォンを設置して頂いてますが、インターフォンのある位置を音声などでわかるようにして頂きたいです。</p>	<p>(阪急電鉄株式会社) 駅の効率的な運営を目指す上で、改札口に係員が不在になる時間帯もありますが、巡回要員がより機動的に動ける(派遣できる)方法を検討したり、作業の内容を工夫したりするなどして、できるだけご迷惑をおかけしないように取り組んでまいります。 なお、弊社駅係員よびだしインターホンについては、定期的に音声でインターホンが設置されている旨の音声案内を実施させていただける仕様としております。</p> <p>(北大阪急行電鉄株式会社) 北大阪急行では各駅に一人以上が常駐しています。 2022年度末には一部のインターフォンについて、音声機能を付加する予定です。</p> <p>(大阪モノレール株式会社) 大阪モノレールでは、全駅に駅係員を配置し、お客さま対応を行っております。</p>

前回協議会での意見一覧(意見書及び回答持ち帰り分) 参考資料

番号	意見内容	回答
8	<p>阪急電鉄において一部とはいえ無人駅時間を作る運営方針変更は、差別や不作為にあたり看過しえません。なぜならこれにより1.始発時刻の切り下げや終電時刻の切り上げなど主に障害者だけが不利益を被るため「不当な差別的取り扱い」に該当する。2.列車・ホーム間に渡し板を用意など、事業者の合理的配慮が義務ではない時は完全利用できていたことが、未施行ではあるが事業者の合理的配慮が義務になる法改正がされてから利用制限が行われ、一部「合理的配慮の不提供」にあたる。</p> <p>また、阪急電鉄は「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する障害当事者団体・鉄道事業者・国土交通省の意見交換会」に出席されていた。その会合の『駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン』に向けての中間とりまとめ(2021年9月24日)のなかで、1.「地方自治体や施設等関係者及び地元障害当事者団体等と十分な意思疎通を図ることを求めているが実施せず、2.「障害当事者の問い合わせを受ける窓口等の整備」「何度も同じ説明を求めるようなことがないような環境の整備」などとされたが行わないまま運営方針を変更した。</p> <p>以上を踏まえて、以下の通り意見します。</p> <p>1 ホームドア・ホーム柵の設置、列車・ホーム間の隙間・段差の解消などの環境整備を行なった上で、無人化の話し合いならば少しは理解できますが、それを行なわず運営方針変更のみを行なったことは無責任です(*)。</p> <p>2 この度の運営方針変更について、障害者団体等に事前相談がなかったことは遺憾でした。今後は、自治体・阪急電鉄・当事者団体で連携するため、会議の場を年に数回程度設けていただきたい。</p> <p>3 この運営方針変更は、コロナの影響による利用者の減少が原因であると認識しているが、コロナが落ち着けば変更以前の人員配置に戻してください。</p> <p>4 予約システムについて、電話でしか受け付けられないのは問題である。全ての人が利用できるようメールやアプリ他、多種多様な予約システムを用意してください。</p> <p>5 参考資料の「声かけ・サポート」運動啓発ポスターについて、駅員が障害者や外国人に声をかけているイラストがある。これと運営方針変更に齟齬がある。また、無人化の時間ができるということは、駅員の代わりに一般乗客が代替することにならざるを得ません。結果、我々は乗車の度に肩身の狭い想いをしなくてはいけなくなることを認識していただきたい。</p> <p>(*)これら環境整備を行なったとしても、子ども・高齢者・外国人・様々な障害者などへの対応や、事故・災害など緊急時の即応性を求められる場合などについては別途問題があることを付記する。</p>	<p>(阪急電鉄株式会社)</p> <p>1 将来的な少子高齢化や沿線人口の減少に向けて、弊社ではより効率的な駅運営について検討・準備を進めておりましたが、コロナウイルスの感染拡大に伴う鉄道利用者の減少により、およそ10年早いペースでお客様の利用が減少したため、今般、駅改札口の営業時間を変更させていただきました。この結果、従来よりも駅員が不在となる時間帯は増加しましたが、お子様・ご高齢の方や様々な障害のある方、また海外からのお客様などへの対応や、事故・災害など緊急時の即応性を最低限維持するため、駅改札口の営業時間の変更にあわせて駅へ人員をより効率的に配置できる作業スケジュールの作成と事前予約を受け付けさせていただく仕組みの整備を行いました。できましたら、今回整備させていただいた、事前予約をご活用いただけますと幸甚に存じます。</p> <p>環境整備を行ってから駅改札口の営業時間を変更するのが望ましいと理解はしておりますが、ホームドア・ホーム柵の設置、列車・ホーム間の隙間・段差の解消については、長期にわたる工事期間や費用が必要となるため、全駅への整備には相応の期間が必要になります。2023年4月から導入させていただくバリアフリー料金制度も活用して、可動式ホーム柵の設置、列車・ホーム間の隙間・段差の解消などの技術面(ハード)面でも引き続き努力して参ります。</p> <p>2 障害当事者とのコミュニケーションは重要であると考えておりますので、自治体の協力も得ながら取り組んで参ります。また、適宜自治体とも情報連携を図りながら、PRの強化を図って参ります。</p> <p>3 コロナの感染拡大がきっかけとはなりましたが、今後の少子高齢化や労働人口減少を見据えた施策ですので、コロナが落ち着いても、要員を復すということは考えておりません。</p> <p>私どもも、どなたにもご利用いただきやすい環境を整えていきたいと考えておりますので、前述の通り、設備面の整備を進めるとともに、できる限り迅速にお手伝いさせていただけるような要員配置の検討やコミュニケーション手段の充実など、より利用いただきやすい環境をつくるべく取り組んで参りますので、何卒ご理解を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>4 どなたにもご利用いただきやすく、アクセスしやすいアプリ等の開発・導入に取り組んで参ります。</p> <p>5 JR東日本が主幹で作成したポスターで、無人駅も含めて、駅を利用いただく皆様や駅係員皆でお互いに声をかけあえる環境をつくりたいと考え、鉄道事業者全体で取り組んでいる取り組みですので、ご理解いただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。</p>